

## 学科・専攻の概要

### 1. 教育計画

学期（二期制）	登校日数・長期休み
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期：4月1日～9月30日</li> <li>・後期：10月1日～3月31日</li> </ul>	登校日数：200日 夏期：7月29日～8月31日 冬期：12月19日～1月6日 学期末：3月31日
成績評価の基準	進級・卒業要件
<p>授業科目の成績評価は、学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。</p> <p>[平成29年度までの入学生] [平成30年度以降の入学生]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・80点～100点 優</li> <li>・70点～79点 良</li> <li>・60点～69点 可</li> <li>・59点～0点 不可</li> <li>・90点～100点 秀</li> <li>・80点～89点 優</li> <li>・70点～79点 良</li> <li>・60点～69点 可</li> <li>・59点～0点 不可</li> </ul> <p>また、成績の分布状況については、半期毎に通知する成績通知書に対象学科における「学年順位」を記載する。なお、学年順位は個人ごとにすべての科目の試験点数（評価点）の平均を計算し順位付けを行う。</p>	<p>当該年次の所定の科目が認定され、かつ当該年次の規定出席日数を満たしていること。</p>

### 2. 取得実績のある資格

団体	資格名
経済産業省	データベーススペシャリスト試験
経済産業省	ネットワークスペシャリスト試験
経済産業省	情報処理安全確保支援士試験、情報セキュリティマネジメント試験
経済産業省	応用情報技術者試験、基本情報技術者試験、ITパスポート試験
オラクル	ORACLE MASTER 11g Bronze/Silver/Gold
オラクル	ORACLE Java プログラマ Bronze/Silver
CompTIA	CompTIA A+, Network+, Security+,

マイクロソフト	プロフェッショナル Windows7/Windows XP
マイクロソフト	Microsoft Office Specialist(Excel/word/Power Point/Access)
セキュリティ・エデュケーション・アライアンス・ジャパン	SEA/J
CG-ARTS 協会	CG クリエイター検定, CG エンジニア検定, マルチメディア検定
日本医療情報学会	医療情報技師, 医療情報知識検定試験
技能認定試験協会	医療事務管理士
職業教育・キャリア教育財団	情報検定(J検)、ビジネス能力検定(B検)
実務技能検定協会	サービス接客検定, 秘書技能検定
日本商工会議所	簿記検定, ワープロ検定, 販売士検定

### 3. 学科・専攻とカリキュラム

#### ①大学併修科

学科の目的 特徴		各種の情報処理技術を駆使し、データを分析・加工して現実の経営に反映できる能力を持つ高度情報技術者を育成する。 同時に、北海道情報大学通信教育部に在籍し、学士（経営情報学）を取得する。				
修業年限	総定員数	専門士		高度専門士		
4年(昼)	200名	-		平成17年文部科学大臣告示170号		
卒業に必要な 総授業時間数		講義科目	演習科目	実習科目		
4,110時間		2,336時間	434時間	1,340時間		
実施科目 (抜粋)		1年	ITの職業と情報倫理、データ構造とプログラミング、アルゴリズム、基礎理論、ハードウェア、ソフトウェア、システム開発の基礎、データベースの基礎、ITストラテジとマネジメント、ネットワークとセキュリティ、ヒューマンスキル など			
		2年	簿記会計I、Java、C言語、ネットワーク応用2、オラクルSQL基礎、Linux、JavaScript、高度情報セキュリティ など			
		3年	オブジェクト指向プログラミング、MySQL、アプリケーション開発技術、PHP開発、JAVA総合実習1、プロジェクトマネジメント、Webアプリケーション構築、就職対策 など			
		4年	システム構築総合演習、企画と提案、Webアプリケーション構築、Java総合実習2、システム構築総合演習、卒業論文支援、卒業研究 など			
目標資格		ネットワークスペシャリスト試験、データベーススペシャリスト試験、情報処理安全確保支援士試験、応用情報技術者試験、基本情報技術者試験、ORACLE MASTER、簿記検定、MOS、高等学校教諭一種免許状(情報、数学、商業) など				

②システムエンジニア科

学科の目的 特徴		システム分析から設計、プログラム作成、試験、運用に至る一連のサイクル全般に関与できるシステムエンジニアを育成する。また、ユーザとの折衝等において中心的役割を担うプロジェクトリーダーの要素もあわせて習得する。			
修業年限	総定員数	専門士		高度専門士	
3年(昼)	150名	平成22年文部科学大臣告示31号		-	
卒業に必要な 総授業時間数		講義科目	演習科目	実習科目	
3,510時間		1,888時間	248時間	1,374時間	
実施科目 (抜粋)		1年	ITの職業と情報倫理、基礎理論、ハードウェア、ソフトウェア、データ構造とプログラミング、ネットワークとセキュリティ、HTMLとCSS、アルゴリズム、システム開発の基礎、データベースの基礎、表計算、ITストラテジとマネジメント、オブジェクト指向プログラミング1、SEA/J基礎 など		
		2年	セキュリティ応用、オブジェクト指向プログラミング2、Linux、Webアプリケーション開発、Python、ビジネスマナーと文書技法、ネットワーク応用2、就職対策、Windowsサーバ、サーバ構築演習 など		
		3年	プロジェクトマネジメント、AIプログラミング、PHP開発、サー人工知能概論、テストと移行・導入、企画と提案、実践システム開発演習、卒業研究 など		
目標資格		データベーススペシャリスト試験、情報処理安全確保支援士試験、応用情報技術者試験、基本情報技術者試験、ORACLE MASTER(Gold・Silver・Bronze)、オラクル認定Javaプログラマ(Gold・Silver・Bronze)、情報検定(J検)、CompTIA、MCP など			

③ゲーム・CGクリエイター科

学科の目的 特徴		マルチメディアコンテンツ制作を企画段階から担当し、画像・音声・映像など各部門の担当者に的確に指示できるマルチメディア技術者を育成する。			
修業年限	総定員数	専門士		高度専門士	
3年(昼)	150名	平成25年文部科学大臣告示3号		-	
卒業に必要な 総授業時間数		講義科目	演習科目	実習科目	
3,510時間		1,924時間	352時間	1,234時間	
実施科目 (抜粋)		1年	ITの職業と情報倫理、データ構造とプログラミング、CG入門、アルゴリズム、基礎理論、ハードウェア、ソフトウェア、データベースの基礎、ネットワークとセキュリティ、システム開発の基礎、ゲームプログラミング1、デザインツール入門、表計算、ゲームプランニング など		
		2年	ゲームプランニング実践、セキュリティ応用、3Dアニメーション、キャラクターデザイン、映像編集入門、3D基礎、ゲームエフェクト、オブジェクト指向プログラミング、ゲームプログラミング2、就職対策 など		
		3年	プロジェクト演習、3DCG実践、CM制作、コンテンツ制作、ゲームプログラミング4、就職対策3、卒業研究 など		
目標資格		応用情報技術者試験、基本情報技術者試験、CGエンジニア、マルチメディア検定、CGクリエイター(webデザイン、デジタル映像)、情報検定(J検) など			

④プログラマ科

学科の目的 特徴		システムの設計・製造・試験において中心的な役割を担うプログラマを育成する。 また即戦力のソフトウェア技術者としての初級S Eの育成も目標とする。			
修業年限	総定員数	専門士		高度専門士	
2年(昼)	90名	平成22年文部科学大臣告示31号		-	
卒業に必要な 総授業時間数		講義科目	演習科目	実習科目	
2,310時間		1,292時間	164時間	854時間	
実施科目 (抜粋)		1年	I Tの職業と情報倫理、基礎理論、ハードウェア、ソフトウェア、ネットワークとセキュリティ、アルゴリズム、表計算、システム開発の基礎、データベースの基礎、I Tストラテジとマネジメント、ネットワーク応用1、S E A / J 基礎、オブジェクト指向プログラミング1、就職対策 など		
		2年	L i n u x、Webアプリケーション開発、セキュリティ応用、ネットワーク応用2、P y t h o n、オラクルSQL基礎、オブジェクト指向プログラミング2、C #システム開発、ヒューマンインタフェース論、卒業研究 など		
目標資格		応用情報技術者試験、基本情報技術者試験、ORACLE MASTER(Gold・Silver・Bronze)、オラクル認定Javaプログラマ(Gold・Silver・Bronze)、情報検定(J検)、Microsoft Office Specialist(Excel・Word・PowerPoint)、ビジネス検定(B検) など			

⑤ゲーム・CGデザイン科

学科の目的 特徴		マルチメディアコンテンツ制作に必要な各デジタル素材を理解し、その加工・編集が行えるマルチメディア技術者を育成する。			
修業年限	総定員数	専門士		高度専門士	
2年(昼)	90名	平成25年文部科学大臣告示3号		-	
卒業に必要な 総授業時間数		講義科目	演習科目	実習科目	
2,430時間		1,454時間	152時間	824時間	
実施科目 (抜粋)		1年	データ構造とプログラミング、アルゴリズム、基礎理論、ハードウェア、ソフトウェア、ネットワークとセキュリティ、CG入門、デザインツール入門、ゲームプログラミング1、表計算、ゲームプランニング、デザインツール入門、就職対策 など		
		2年	ゲームエフェクト、デッサン、キャラクタデザイン、3Dアニメーション、セキュリティ応用、3D基礎、ゲームプランニング実践、卒業研究1 など		
目標資格		応用情報技術者試験、基本情報技術者試験、CGエンジニア、マルチメディア検定、CGクリエイター(webデザイン、デジタル映像)、情報検定(J検) など			

⑥ビジネス科

<p>学科の目的 特徴</p>		<p>オフィスビジネス専攻では、業務に即したビジネスソフトを導入し、効果的に利用できるOA事務職を目標としたシステムアドミニストレータを育成する。医療事務専攻では、医療のIT化に対応できる病院事務のエキスパートを育成する。</p>			
<p>修業年限</p>	<p>総定員数</p>	<p>専門士</p>		<p>高度専門士</p>	
<p>2年(昼)</p>	<p>80名</p>	<p>平成25年文部科学大臣告示3号</p>		<p>-</p>	
<p>卒業に必要な 総授業時間数</p>		<p>講義科目</p>	<p>演習科目</p>	<p>実習科目</p>	
<p>2,050時間</p>		<p>1,116時間</p>	<p>280時間</p>	<p>654時間</p>	
<p>実施科目 (抜粋)</p>		<p>1年</p>	<p>ITの職業と情報倫理、情報基礎、簿記会計1、MOSExcel演習、ビジネス概論、デザインツール演習、ITストラテジとマネジメント、ヒューマンスキル、Webデザイン実習1、医療事務、販売実務1、就職対策 など</p>		
		<p>2年</p>	<p>ExcelVBA、Access実習、Webサイト作成、医療情報基礎知識検定対策、実践ビジネス文書、卒業研究 など</p>		
<p>目標資格</p>		<p>日商簿記検定、販売士、秘書検定、情報検定(J検)、Microsoft Office Specialist(Excel・Word・PowerPoint・Access)、ビジネス検定(B検)、医療事務管理士 など</p>			



⑦情報ライセンス科

学科の目的 特徴		10月入学の1年課程。短期間で情報処理技術者試験に合格するとともに、情報処理システムの設計・プログラミング・テストまで一貫したシステム構築を行うソフトウェア技術者を育成する。			
修業年限	総定員数	専門士		高度専門士	
1年(昼)	40名	-		-	
卒業に必要な 総授業時間数		講義科目	演習科目	実習科目	
1,270時間		786時間	32時間	452時間	
実施科目 (抜粋)	1年	ITの職業と情報倫理、基礎理論、ハードウェア、ソフトウェア、データ構造とプログラミング、ネットワークとセキュリティ、アルゴリズム、データベースの基礎、ITストラテジとマネジメント、ネットワークとセキュリティ、オブジェクト指向プログラミング、就職対策 など			
目標資格	基本情報技術者試験、ORACLE MASTER(Silver・Bronze)、情報検定(J検)、オラクル認定 Java プログラマ(Silver・Bronze)、ビジネス検定(B検) Microsoft Office Specialist(Excel・Word・PowerPoint)、 など				

#### 4. 就職率、卒業後の進路

就職率	99%	※令和2年3月卒業生実績
主な就職先	<p>アイコムソフト(株)、旭情報サービス(株)、(株)uzufactory、宇宙技術開発(株)、(株)エイジエック、(株)エイチ・エル・シー、(株)エスシーシー、(株)N. ジェン、(株)ENG I、(株)オーディーシー、(株)オプティマ、(株)九州D T S、九電ビジネスソリューション(株)、久留米情報システム(株)、コンピュータハウス(株)、サイバーコム(株)、(株)サンウェル、(株)三技協イオス、G c o mホールディングス(株)、(株)J R東日本情報システム、(株)システナ、(株)システム・サイエンス、(株)スターシステム、(株)S O M P Oシステムズ、(株)ダイキエンジニアリング、(株)ディ・アイ・システム、(株)T B C、(株)D A G、(株)テクノクリエイティブ、(株)デジタルトライブ、(株)デジタルハーツ、ナビオコンピュータ(株)、名村情報システム(株)、西鉄情報システム(株)、(株)N E X C Oシステム、(株)ネットサービスソリューションズ、(株)ネットワーク応用技術研究所、富士インフォックス・ネット(株)、富士ソフト(株)、明治安田システム・テクノロジー(株)、(株)ユー・エス・イー、ユニバース情報システム(株)、(株)ラデックス、(株)竜巧社ネットウェア など</p>	